

令和元年度岡山県図書館協会総会議事録

日時：令和元年6月3日（月）

10:30～12:00

場所：岡山県立図書館 2階多目的ホール

出席 個人30 施設会員35

委任状 個人229 施設会員40

1 開 会

- ・定数確認 出席者と委任状が定員の半数以上のため会は成立。
- ・狩屋岡山県図書館協会会長あいさつ。

2 議長選出

- ・狩屋会長が議長に選出。

3 協議

(1) 令和元年度・2年度役員を選出 [資料①]

- ・資料に沿って事務局から説明。

承認

(2) 平成30年度事業報告・収支決算報告・監査報告 [資料②③④]

- ・資料に従って事務局から説明。
- ・早島町立図書館長 三宅監事が監査報告。

承認

提 案： 資料を会員の方に配っていただけないか。

事務局： 総会資料及び議事録は、総会後にホームページに掲載し広く公表している。また、施設会員にはコピーしたものを送付している。全ての方にお送りするのは難しいので、個人会員の方については御連絡いただければ送付させていただく。

提 案： 全国的に資料費の削減が問題となっているが、ふるさと納税や個人が持っている「積ん読」や古本を活用できないか。参考に、岡山大学では古本募金をやっているようだ。県立図書館でも基金が残り数年で枯渇するとお聞きしているが、資料費確保のためのPR活動をされてはどうか。県立図書館に限らず各自治体の赤字が膨らみ、今後、資料費がより削減されることを懸念している。

会 長： 県立図書館長として発言させていただく。当館は返礼品なしのふるさと納税を行い、広くPRしている。100万円の受入れを目標としているが、それには達していない状況だ。財源については当局側と毎年度話し合いをして確保にむけて力を入れている。引き続き、ふるさと納税についてもPRしていくが皆様も御協力していただけるとありがたい。

岡山大学： 古本募金とは不要になった本を皆様から提供していただき、その査定換金額が寄付される仕組みである。どの大学図書館も予算確保に苦慮しており、クラウドファンディングやネーミングライツを取り入れている大学もあるようだ。岡山大

学も予算確保の方法を検討している。

提 案： 立石憲利先生が収集された民謡について、テープ起こしされていないものが複数あるようだ。県立図書館や各市町村立図書館でテープ起こしし、製本するよう岡山県図書館協会として働きかけできないか。

事務局： 立石先生は各図書館でも語り部の育成をしていただいているようだ。立石先生からお申し出があればぜひ対応させていただく。県立図書館にはデジタル岡山大百科があるので、音声資料として残すことも検討可能である。会員の皆さんからも色々と情報をいただきたい。

提 案： 西日本豪雨により真備町で立石先生所蔵の資料が多く被災したこともあり、立石先生が一人で御尽力されている。その取組みをぜひ皆さんで手助けして欲しい。県立図書館は住民の需要を広域的かつ総合的に判断して収集することや図書館間の連絡調整を行うことになっている。このような法的根拠があることから予算を確保し、動きやすいのではないか。

提 案： 県立図書館では、児童図書は全点購入され、一般図書は70%程度購入と聞いている。予算が削減されている中、選定の段階で取捨選択するのに難しい判断が必要になっているのではないか。このような点を研究されてはいかがか。また、全国公共図書館協議会などで研究し公表していただけるとありがたい。全国的な問題だと認識している。

事務局： 資料費については公共図書館調査を行っており、岡山県分は県立図書館ホームページに掲載している。全国の情報は日本図書館協会から冊子とCD-ROMで販売されている。詳しい状況はそちらを御覧いただきたい。

提 案： 他県で予算獲得のよい例はあるのか。また、資料の選定の中立性等について、講演や討論会をされてはいかがか。

会 長： 県立図書館長としての発言であるが、雑誌のスポンサー制度やふるさと納税制度の活用などは行っており、引き続きPRしていきたい。しかし、現状では数十万円～数百万程度の補充であり抜本的な解決にはなっていない。様々に研究しているところではあるが、引き続き努力して参りたい。

なお、当初は一般図書の7割程度購入できていたが、現在は5割を切っている。資料の選定・購入について、引き続き厳選する必要があるかと思う。御理解いただくとともに、アイデアを御提供いただきたい。

(3) 令和元年度事業計画(案)・収支予算(案) [資料⑤⑥]

・資料に従って事務局から説明。

資料の修正：6ページ

<特別会計(記念事業積立金)の部>

予算額	前年度繰越金	誤	300,000	→	正	300,017
	雑収入	誤	1,000	→	正	983
増△減	前年度繰越金	誤	100,000	→	正	100,017
	雑収入	誤	0	→	正	△17

修正した形で承認

- 提 案： 研修奨励金の額をもう少し上げてはいかがか。
- 事務局： 研究奨励金は交付金額が上限5万円であり、審査を踏まえて交付することができる。新しく着手するもの、研究中のもの、すでに終わったもののいずれも可能であり、申請しやすい形にはなっているかと思われる。しかし、職員が忙しく研究に手が回らないのも原因の一つかと思うが、申請が活発にはない状態である。こちらについても、会員の方から上限を引き上げる等の意見を複数いただければ、規程の改正もあり得ると考えている。なお、今年度予算を積んでいないのは、今年度に奨励金交付対象となる研究の申請がなかったためである。
- 提 案： 自費出版を認めてはいかがか。本が出版される時点で、何かしらの社会に問われている問題を示しており、公共的性質を帯びているのではないか。条件を付けずに認めてもよいのではないか。
- 事務局： 研究奨励金の目的は、図書館に関する研究の奨励である。自費出版を全て認めるのは趣旨に反すると考える。ただし、岡山県図書館協会の目的から鑑みて自費出版を全て却下ということにもならないと考える。今後、研究させていただく。
- 提 案： 申請されず使い道のない研究奨励金であれば意味がないのではないか。定義の見直しが必要ではないか。
- 会 長： そこも踏まえて今後研究させていただく。

(4) 岡山県図書館協会創立70周年記念事業について [資料⑦]

- ・資料に従って事務局から説明。

承認

- 事務局： 表彰について補足する。前回の60周年のときは、10年毎の表彰は対象の選考が難しい等の理由から表彰しない旨、総会で承認され実施しなかった。
- しかし、今回については、フォーマルな表彰ではなく、カジュアルな形で実施したいとの意見が運営委員会で示されている。表彰の対象は広く募りたい。例えば、表彰の対象となりにくい非常勤職員の方や個人会員で広く読書活動の推進をされている方など。また、小さなボランティア団体で活動をしているものの、全国表彰では規模が小さいために推薦しにくい方々なども対象としたい。このように、できるだけ多くの方を表彰する機会としたい。この表彰を通して、岡山県図書館協会や各図書館の活動をより多くの県民の方に周知できるだけでなく、活動されている方の励みとしたい。表彰対象や選考方法などは検討中のため、皆様からの御意見を広く募集している。
- なお、来年度の総会では、日時や事業内容がより具体的にお示しできる見込みである。特にイベントについては来年度の総会で具体案を示し、実施していきたい。このことについても、御意見や要望等をいただきたい。より多くの方の声を反映させた周年記念事業としたいため、ぜひ事務局や運営委員にアイデアをいただきたい。
- 提 案： 表彰について、前回の60周年から今回までの10年間において、研修に皆勤の方を表彰してはいかがか。
- 提 案： ホームページの更新を検討してはいかがか。
- 提 案： 民営化された図書館や複合施設の中の一つの施設として建設された図書館など、多様な図書館が開館している中、これからの図書館を討論する場を設けてはいか

がか。

意見： 県北は県立図書館から遠いため、ゲストの方のトークショーを遠方で聞けるように、県北にサテライト会場を設置してはいかがか。会場は当館も準備できると思う。

(5) 災害関連資料の収集について [資料⑧]

・資料に従って事務局から説明。

承認

提案： この度の提案に敬意を表したい。私自身が被災した地域からの資料のレスキューをしているが、災害の直接の治療だけでなく災害にどのように取り組んだかを残そうと進んでいる。岡山県図書館協会がこのような形で声をあげるのは有意義なことである。

岡山県では、県内のこのような問題に関わりのある大学や諸機関（博物館協議会や建築士会等）がネットワークを組んで情報を共有する「岡山県文化財等救済ネットワーク」がある。事務局は教育庁文化財課である。岡山県図書館協会としてもこちらに参加し、広く情報を共有できるよう御検討いただきたい。

提案： 内容の趣旨はよいのでぜひ進めていただきたい。開始時期は報道の増えてくる時期に間に合うとより効果が高いと思う。また、各図書館において複数ある資料が手に入りそうなときに、県立図書館が予備を保管して分散収集するのか、複製をもつのか、或いは総合目録的なものを作成するかなど、大まかな方針をまとめていただければ各図書館で見通しが立ちやすいのではないか。

このことについて、ぜひ学校にもお声がけいただきたい。

事務局： 県立図書館にいただけるならいただきたい。こちらからも寄贈の呼びかけをしていきたい。今回の趣旨は、まずは各地域の図書館で集めていくことを目的としている。資料に予備があれば県立図書館に情報や現物をいただくようお願いすることになると思う。

会長： 実施にあたっては詳細を詰めていきたい。各館との協議や、情報を御提供させていただきながら進めて参りたい。

(6) その他

なし

5 その他

(1) 図書館功労者表彰について [資料⑨]

表彰者 5名

(2) その他

情報提供： 岡山県の高校図書館で結成された団体が開催する「でーれーBOOK」というコンテストがある。高校生へのお薦め本のコンテストである。岡山市や近隣の図書館、

書店等にもこの企画のコーナーを展開している。高校生に本を薦めるとともに高校図書館の活動を発信している。ホームページを開設しているのでぜひ御覧いただきたい。

岡山市の「学校図書館を考える会・おかやま」という岡山市民の方と学校司書が中心となり、市民の方に図書館の活動をお伝えしている。昨今の職員の労働環境や学校図書館の環境整備等の状況を多くの方に知っていただきたい。その活動の報告集があるので御一読いただきたい。

また、6月30日に操山公民館で「学校図書館カフェ in 中区」という市民の方に学校図書館の取組みを知っていただくというイベントをしている。ホームページを御覧いただきたい。地道に市民の方に取組みを知っていただくことも必要だと思う。学校図書館でもこのような活動をしているので皆様にも応援していただきたい。

6 閉会